

# 第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会

令和5年8月23日(水)10:00~12:00  
レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

## － 次 第 －

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

(1)安心・活力・発展プラン2015の進捗状況について

(2)これからの県政に求めることについて

4 閉 会

## 「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

| No. | 団体・役職名                          | 氏名     | 備考 |
|-----|---------------------------------|--------|----|
| 1   | 八鹿酒造株式会社 代表取締役社長                | 麻生 益直  |    |
| 2   | 日出町社会福祉協議会 子育て支援課長              | 阿部 敬子  |    |
| 3   | 株式会社みょうばん湯の里 代表取締役              | 飯倉 里美  |    |
| 4   | 日本労働組合総連合会大分県連合会 会長             | 石本 健二  | 欠席 |
| 5   | 一般社団法人ゆれる 代表                    | 小笠原 順子 |    |
| 6   | 丸果大分大同青果株式会社 代表取締役社長            | 小野 秀幸  | 欠席 |
| 7   | 株式会社ネオマルス 代表取締役                 | 甲斐 武彦  |    |
| 8   | 一般財団法人セブンイレブン記念財団 九重ふるさと自然学校 代表 | 川野 智美  |    |
| 9   | 株式会社GREEN CIRCLE 取締役社長          | 神鳥 絵里  |    |
| 10  | 大分大学 学長                         | 北野 正剛  |    |
| 11  | 弁護士法人 清源法律事務所 代表者 社員弁護士         | 清源 万里子 |    |
| 12  | 大分県社会福祉協議会 会長                   | 草野 俊介  |    |
| 13  | 久大林産株式会社 代表取締役                  | 工藤 洋一  |    |
| 14  | 株式会社AGC 代表                      | 黒田 春麗  |    |
| 15  | 株式会社玉の湯 代表取締役社長                 | 桑野 和泉  |    |
| 16  | 大分県医師会 会長                       | 河野 幸治  | 欠席 |
| 17  | 株式会社大分銀行 取締役頭取                  | 後藤 富一郎 |    |

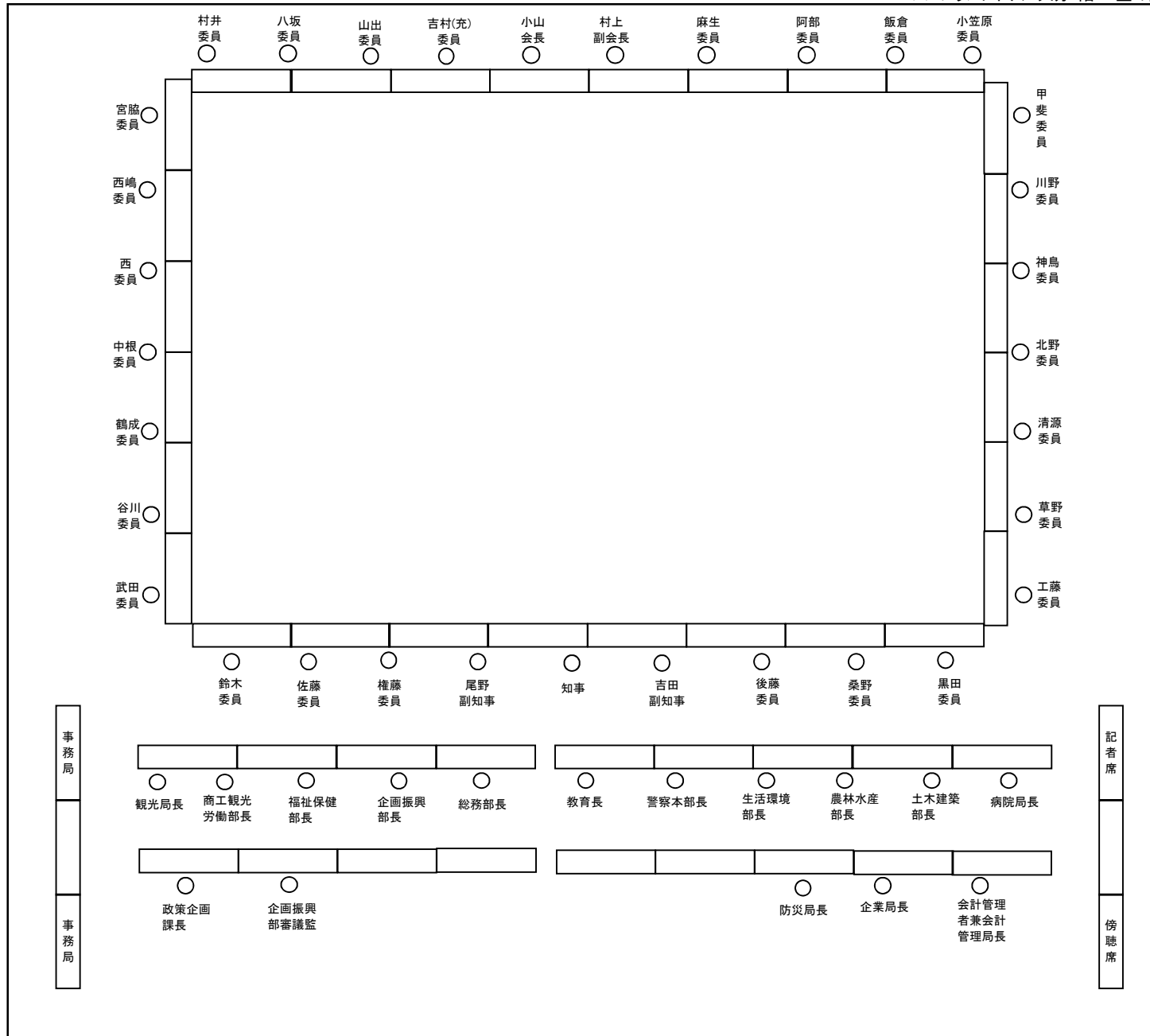
| No. | 団体・役職名                       | 氏名     | 備考 |
|-----|------------------------------|--------|----|
| 18  | 大分県私学協会 理事長                  | 小山 康直  |    |
| 19  | 株式会社豊和銀行 取締役頭取               | 権藤 淳   |    |
| 20  | ENEOS株式会社 大分製油所長             | 佐藤 学   |    |
| 21  | 有限会社お花屋さんぶんご清川 取締役           | 鈴木 恵   |    |
| 22  | 株式会社モノリス 代表取締役               | 武田 喜一郎 |    |
| 23  | 特定非営利活動法人 地域ひとネット 代表理事       | 谷川 真奈美 |    |
| 24  | 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター センター長 | 鶴成 悦久  |    |
| 25  | 大分県漁業協同組合 代表理事組合長            | 中根 隆文  |    |
| 26  | 株式会社西石油グループ 代表取締役社長          | 西 貴之   |    |
| 27  | ニシジマ精機株式会社 代表取締役社長           | 西嶋 真由企 |    |
| 28  | 合同会社アイ・ジー・シー 代表              | 宮脇 恵理  |    |
| 29  | FIG株式会社 代表取締役社長              | 村井 雄司  |    |
| 30  | 社会福祉法人シンフォニー 理事長             | 村上 和子  |    |
| 31  | NPO法人denk-pause 代表           | 八坂 千景  |    |
| 32  | Yamaide Art Office株式会社 代表取締役 | 山出 淳也  |    |
| 33  | 日本文理大学 副学長・工学部教授             | 吉村 充功  |    |
| 34  | 大分県商工会議所連合会 会長               | 吉村 恭彰  | 欠席 |

### 県関係者名簿

| No. | 団体・役職名          | 氏 名    |
|-----|-----------------|--------|
| 1   | 大分県知事           | 佐藤 樹一郎 |
| 2   | 大分県副知事          | 尾野 賢治  |
| 3   | 大分県副知事          | 吉田 一生  |
| 4   | 企業局長            | 渡辺 文雄  |
| 5   | 病院局長            | 井上 敏郎  |
| 6   | 教育長             | 岡本 天津男 |
| 7   | 警察本部長           | 種田 英明  |
| 8   | 総務部長            | 若林 拓   |
| 9   | 企画振興部長          | 山田 雅文  |
| 10  | 福祉保健部長          | 工藤 哲史  |
| 11  | 生活環境部長          | 高橋 強   |
| 12  | 商工観光労働部長        | 利光 秀方  |
| 13  | 農林水産部長          | 佐藤 章   |
| 14  | 土木建築部長          | 三村 一   |
| 15  | 会計管理者兼会計管理局長    | 渡辺 柝彦  |
| 16  | 企画振興部審議監        | 上城 哲   |
| 17  | 生活環境部防災局長       | 岡本 文雄  |
| 18  | 商工観光労働部審議監兼観光局長 | 渡辺 修武  |
| 19  | 企画振興部政策企画課長     | 小野 宏   |

# 「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 配席図

レンブラントホテル大分2階 二豊の間



## 「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 設置要綱

### (設 置)

第1条 大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」（以下「長期総合計画」という。）の各政策・施策を推進するため、「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 「安心・活力・発展プラン2015」の進捗状況について報告を受け、必要な事項を審議し、助言等を行う。
- (2) まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略について審議し、必要な助言等を行う。
- (3) その他県の政策・施策に係る重要事項について審議し、必要な助言等を行う。

### (構 成)

第3条 推進委員会は、各種グループのリーダー、企業関係者、個人事業者、各種団体関係者、学識経験者等の中から、知事が委嘱する委員をもって構成する。

- 2 委員に欠員が生じたときは、新たに委員を委嘱することができる。
- 3 委員の任期は2年間とする。ただし、補欠の委員は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は再任することができる。

### (役 員)

第4条 推進委員会に、次の役員を置き、委員の互選によりこれを定める。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人
- 2 会長は、推進委員会を代表し、会務を統括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

### (会 議)

第5条 推進委員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができるほか、その他適当な方法により、広く意見を聴くことができる。

### (庶 務)

第6条 推進委員会の庶務は、企画振興部政策企画課において処理する。

### (雑 則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

1. この要綱は、平成27年12月1日から施行する。
2. 第3条第3項の規定にかかわらず、平成27年12月22日に委嘱された委員の任期は、平成29年3月31日までとする。

### 附 則

1. この要綱は、令和2年7月28日から施行する。
2. 第3条第3項の規定にかかわらず、令和2年7月28日に委嘱された委員の任期は、令和4年3月31日までとする。

### 附 則

1. この要綱は、令和4年8月3日から施行する。
2. 第3条第3項の規定にかかわらず、令和4年8月3日に委嘱された委員の任期は、令和6年3月31日までとする。

## 安心・活力・発展プラン2015の進捗状況について

- 1 「安心・活力・発展プラン2015」の政策体系
- 2 R4年度目標指標の進捗状況【全体状況】
- 3 達成不十分以下(90%未満)指標の要因
- 4 達成不十分以下の指標一覧（分野別）
- 5 目標値達成に向けた取組（特に達成度が低い5指標(非コロナ要因)について）

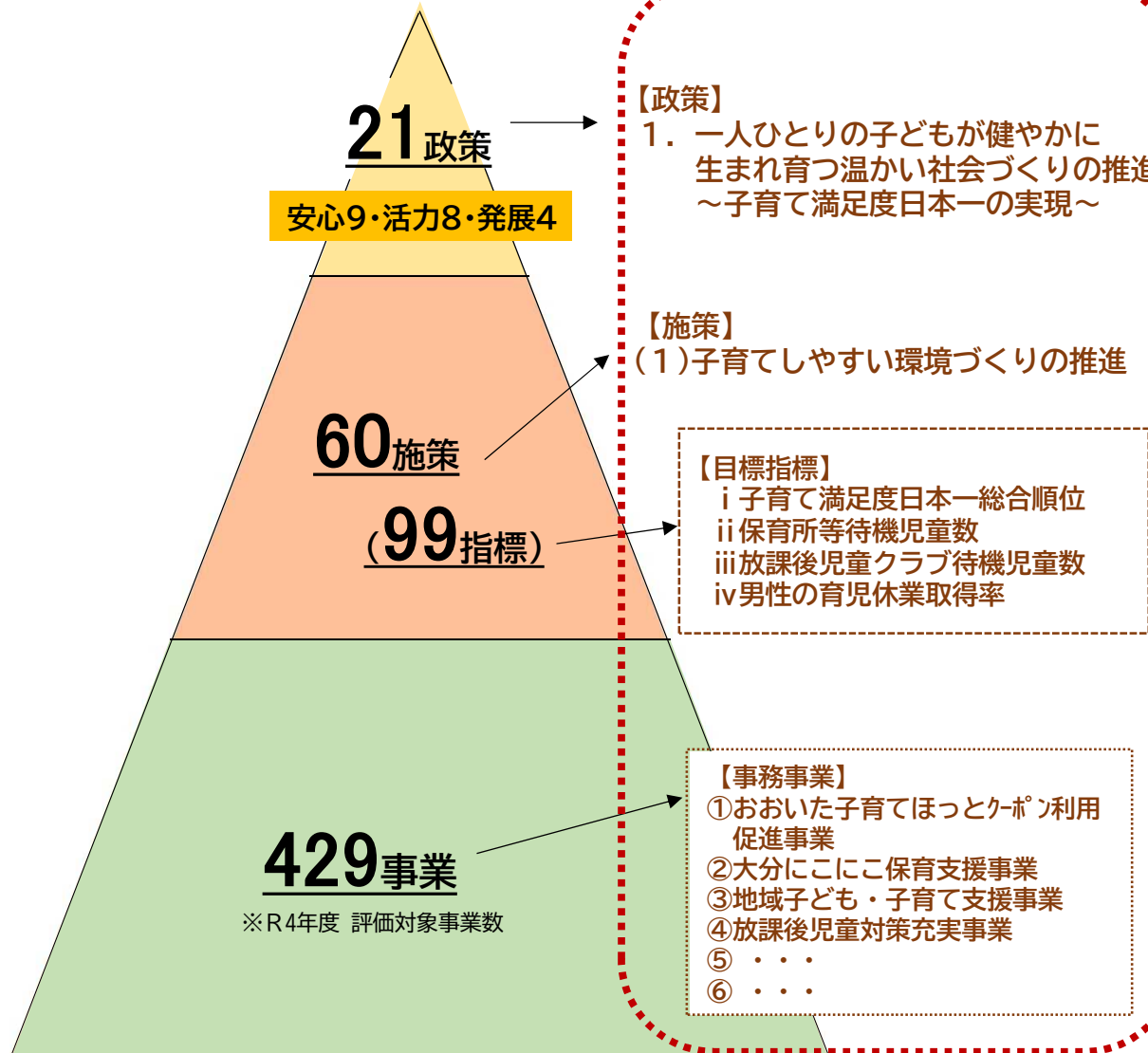
### 参考資料

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 R4年度の目標値に対する達成度</li> <li>(1) 政策別レーダーチャート</li> <li>(2) 施策別レーダーチャート(安心)</li> <li>(3)           "           (活力)</li> <li>(4)           "           (発展)</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2 最終年度(R6)の目標値に対する達成度</li> <li>(1) 政策別レーダーチャート</li> <li>(2) 施策別レーダーチャート(安心)</li> <li>(3)           "           (活力)</li> <li>(4)           "           (発展)</li> </ol> |
|---|---|

# 「安心・活力・発展プラン2015」の政策体系

政策・施策

事務事業



【政策】  
1. 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進  
～子育て満足度日本一の実現～

【施策】  
(1)子育てしやすい環境づくりの推進

【目標指標】  
i 子育て満足度日本一総合順位  
ii 保育所待機児童数  
iii 放課後児童クラブ待機児童数  
iv 男性の育児休業取得率

【事務事業】  
①おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業  
②大分にこここ保育支援事業  
③地域子ども・子育て支援事業  
④放課後児童対策充実事業  
⑤・・・  
⑥・・・

## 【21政策一覧】

- 安心**
- 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進  
～子育て満足度日本一の実現～
  - 健康長寿・生涯現役社会の構築  
～健康寿命日本一の実現～
  - 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現
  - 恵まれた環境の未来への継承  
～おおいたうつくし作戦の推進～
  - 安全・安心を実感できる暮らしの確立
  - 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進
  - 多様な主体による地域社会の再構築
  - 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実
  - 移住・定住の促進
- [9政策 27施策 46指標]

- 活力**
- 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現
  - 活力と変革を創出する産業の振興
  - 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興
  - 海外戦略の推進
  - 大分県ブランド力の向上
  - いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり
  - 女性が輝く社会づくりの推進
  - 活力みなぎる地域づくりの推進
- [8政策 17施策 29指標]

- 発展**
- 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
  - 芸術文化による創造県おおいたの推進
  - スポーツの振興
  - 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実
- [4政策 16施策 24指標]

## R4年度 目標指標の進捗状況【全体状況】

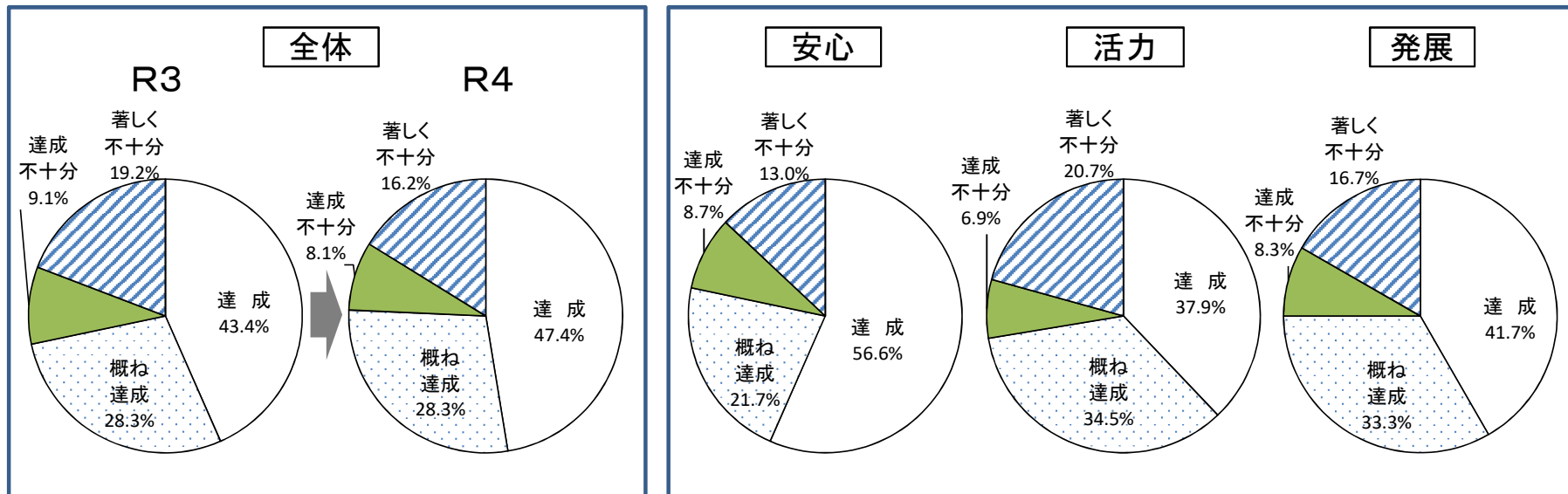
施策毎に設定した目標指標の進捗状況（4年度）については、以下のとおりであり、「達成」及び「概ね達成」は全体の75.8%（昨年71.7%に対し+4.1）となっている。

| 区 分     | 達 成<br>(達成率100%以上) | 概ね達成<br>(達成率100%未満<br>～90%以上) | 達成不十分<br>(達成率90%未満<br>～80%以上) | 著しく不十分<br>(達成率80%未満) | 合 計          |
|---------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------|--------------|
| 4年度進捗状況 | 47 ( 47.4%)        | 28 ( 28.3%)                   | 8 ( 8.1%)                     | 16 ( 16.2%)          | 99 ( 100.0%) |
|         | 75 ( 75.8%)        |                               | 24 ( 24.2%)                   |                      |              |

|      |         |             |             |              |
|------|---------|-------------|-------------|--------------|
| (参考) | 3年度進捗状況 | 71 ( 71.7%) | 28 ( 28.3%) | 99 ( 100.0%) |
|      | 元年度進捗状況 | 83 ( 85.5%) | 14 ( 14.5%) | 97 ( 100.0%) |

※元年度目標値の設定のない指標は含まない

| 分野別 | 安 心          | 活 力          | 発 展          |
|-----|--------------|--------------|--------------|
|     | 26 ( 56.6%)  | 11 ( 37.9%)  | 10 ( 41.7%)  |
|     | 10 ( 21.7%)  | 10 ( 34.5%)  | 8 ( 33.3%)   |
|     | 4 ( 8.7%)    | 2 ( 6.9%)    | 2 ( 8.3%)    |
|     | 6 ( 13.0%)   | 6 ( 20.7%)   | 4 ( 16.7%)   |
|     | 46 ( 100.0%) | 29 ( 100.0%) | 24 ( 100.0%) |

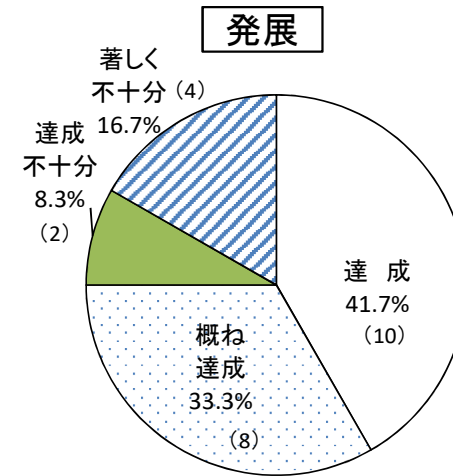
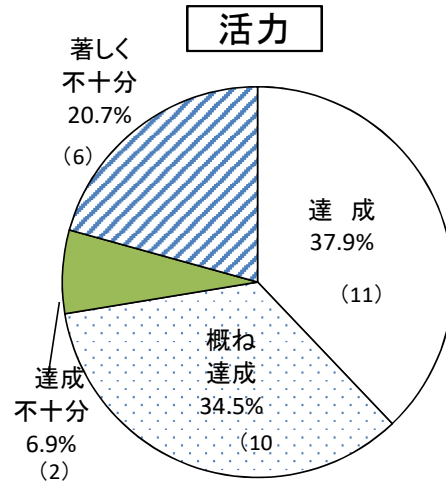
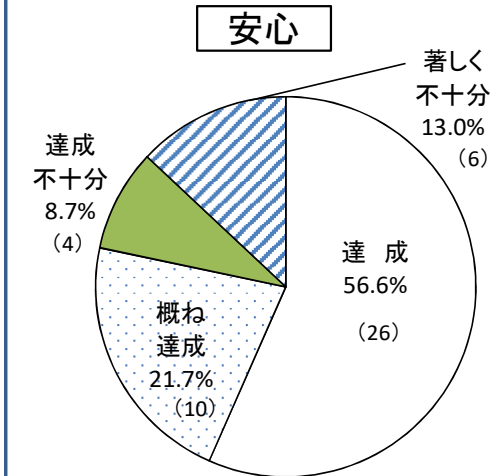




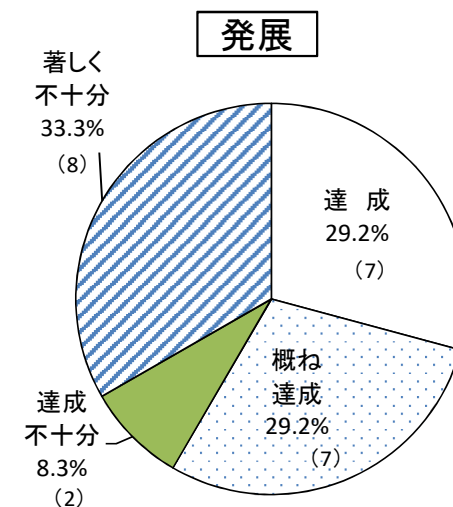
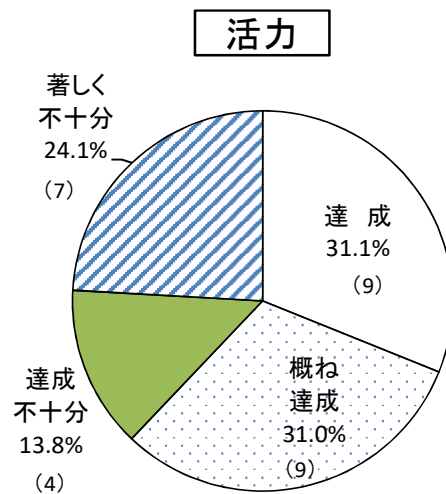
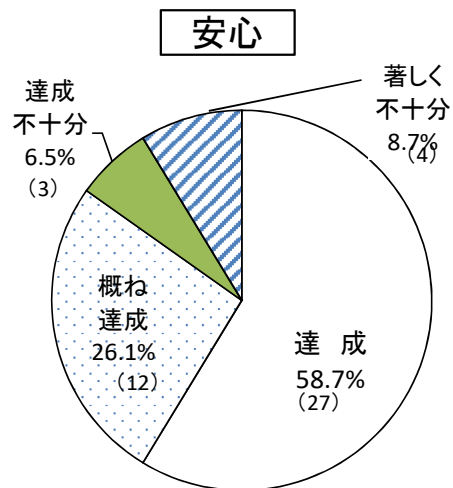
## 分野別の年度比較(4年度－3年度)

※ ( )内は目標指標の数

R4



R3



## 達成不十分以下(90%未満)指標の要因

| 要因   | 令和3年度  | 令和4年度   | R3→R4差 |
|------|--|---|--------|
| コロナ  | 21   | 14  | △7     |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うつくし大行動参加者数 (65.6%)</li> <li>・ 自主防災組織避難訓練等実施率 (50.7%)</li> <li>・ 県内宿泊客数 (54.8%)</li> <li>・ 外国人宿泊客数 (1.5%)</li> <li>・ 観光消費額 (51.2%)</li> <li>・ 公立図書館の利用者数 (67.2%)</li> <li>・ 国際大会出場者数 (56.9%)</li> <li>・ 合宿等受入人数 (38.9%)</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか13指標</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織避難訓練等実施率 (77.3%)</li> <li>・ 外国人宿泊客数 (9.9%)</li> <li>・ 観光入込客数 (73.2%)</li> <li>・ 観光消費額 (76.2%)</li> <li>・ 公立図書館の利用者数 (68.0%)</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブの会員数 (74.5%)</li> <li>・ 合宿等受入人数 (61.3%)</li> <li>・ フェリー・航空輸送人員 (75.0%)</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか6指標</p>   |        |
| 非コロナ | 7  | 10  | 3      |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性の育児休業取得率 (32.0%)</li> <li>・ 障がい者雇用率全国順位 (87.2%)</li> <li>・ 特殊詐欺被害件数 (66.1%)</li> <li>・ 医療機器製造登録事業所等数 (76.5%)</li> <li>・ 地域ブランド調査(魅力度ランキング) (66.7%)</li> <li>・ 雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合 (78.9%)</li> <li>・ 不登校児童生徒の出現率の全国との比 (89.8%)</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (新)「子育て満足度日本一」総合順位 (78.7%)</li> <li>・ (新)放課後育成クラブ待機児童数 (79.5%)</li> <li>・ <u>男性の育児休業取得率 (46.0%)</u></li> <li>・ (新)母子家庭等自立支援給付金を利用して資格取得のために修学した人の就職率 (87.5%)</li> <li>・ 障がい者雇用率全国順位 (87.2%)</li> <li>・ <u>特殊詐欺被害件数 (29.8%)</u></li> <li>・ (新)<u>食中毒発生件数 (33.3%)</u></li> <li>・ <u>医療機器製造登録事業所等数 (66.7%)</u></li> <li>・ <u>地域ブランド調査(魅力度ランキング) (55.9%)</u></li> <li>・ 雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合 (70.6%)</li> </ul> |        |
| 全体   | 28   | 24  | △4     |

【達成不十分以下の指標(安心)】

(10指標)

| 施策名                           | 指標名  | 目標値    | 実績値    | 達成度   | 要因  | 向上策  |
|-------------------------------|--|--------|--------|-------|---|--|
| 子育てしやすい環境づくりの推進               | 「子育て満足度日本一」総合順位(位)(本県独自指標による)<br><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>         | 1      | 11     | 78.7% | 男性の家事・育児関連時間が前回調査よりわずかに減少し、他県男性の家事・育児関連時間が増加したため、全国順位を大きく下げた。         | ・地域子育て支援拠点で父親向けの連続講座を実施し、各地域での父親のコミュニティづくりを推進するとともに、父親と企業の上司(イクボス)を対象とした意見交換会、ワークショップ等を実施し、男性の子育て参画を推進する。<br>・企業を巻き込み、企業にも当事者意識を持ってもらうことで、男性が子育て参画しやすい環境を整備する。   |
| 子育てしやすい環境づくりの推進               | 放課後児童クラブ待機児童数(人)<br><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>                      | 0      | 24     | 79.5% | 児童クラブ施設の定員数や専門性のある職員の不足等により受け皿が足りず、目標値に届いていない要因となった。                  | R5より実施する子育て応援活動人材育成事業により、担い手不足の解消や児童クラブに社労士をアドバイザー派遣するなど、労働環境の整備に努める。  |
| 子育てしやすい環境づくりの推進               | 男性の育児休業取得率(%)  | 30     | 13.8   | 46.0% | 職場の人手不足や周囲の負担が増加する・業務に影響が出るなど、企業における男性の育児休業取得が取りづらい環境があることで目標未達成となった。 | 企業経営者や人事労務担当者等を対象としたセミナー・個別相談会や男性の育児休業取得促進に特化したアドバイザー派遣を実施し、育児休業が取得しやすい環境づくりに向けた研修会の実施や育児休業に関する社内制度の整備などを支援する。   |
| 子どもの貧困対策やひとり親家庭・障がい児へのきめ細かな支援 | 母子家庭等自立支援給付金を利用して資格取得のために修学した人の就職率(%)<br><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> | 100    | 87.5   | 87.5% | 保育士として就業する予定だったが、育児をする上で就業時間が合わないなど、希望する就職条件に合致する求人がなく、就職には至らなかった。    | 給付金を利用した方に、就職につながるきめ細かなフォローアップを行っていくと同時に、求人登録の拡大を図る。   |
| 高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築          | 65歳以上のボランティア活動参加人数   | 20,600 | 16,723 | 81.2% | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ボランティア活動自体が自粛等により減少したため。                            | 新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、対象が高齢者のため引き続き基本的な感染対策を徹底したうえでのボランティア活動や通いの場への参加を呼びかけるとともに、オンラインによる通いの場づくりを推進する。また、老人クラブ連合会や社会福祉協議会等と連携し、地域を支える元気高齢者の育成に向けたアクティブシニア養成講座等を開催するほか、コロナ禍でも着実に増加している高齢者団体による、生きがいづくり等に資するパワフルシニア活動をしっかり応援していく。 |

コ  
ロ  
ナ

| 施策名                     | 指標名   | 目標値   | 実績値   | 達成度   | 要因   | 向上策   |
|-------------------------|---|-------|-------|-------|--|---|
| 障がい者の就労支援               | 障がい者雇用率の全国順位(位)   | 1     | 7     | 87.2% | ・A型事業所から県外企業への一般就職<br>・県内中堅企業が県外企業に統合されたことによる県外カウントへの変更                | ①IT分野へ新規参入するA型事業所に対して、準備経費を助成(R5新規)<br>②障がい者と企業のマッチング機会を確保するため、合同企業説明会を開催(R5新規)<br>③一般就労へ送り出した人数が過去3か年平均を上回った就労系事業所に対し、奨励金を支給<br>④障がい者雇用アドバイザーによる雇用率未達成企業へのフォロー強化<br>⑤先進事例や支援機関等を紹介する情報誌「ともに働く」の配付による企業の採用意欲の醸成 等   |
| 犯罪に強い地域社会の確立            | 特殊詐欺被害件数(件以下)   | 104   | 177   | 29.8% | 予兆電話等が増加したことや犯行手口の巧妙化等により、架空料金請求詐欺等の特殊詐欺が増加したため。                       | 引き続き、特殊詐欺の手口や対処方法等について、動画を活用したテレビCMやWeb広告等による注意喚起を徹底するとともに、大分駅前交番に設置予定の大型ビジョンによる広報啓発もを行い、被害防止を図る。   |
| 食の安全・安心の確保              | 食中毒発生件数(件以下)<br><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> | 6     | 10    | 33.3% | 近年全国的に増加傾向にあり、R4年の全国の食中毒事例として最も多い「アニサキス」による食中毒が県内でも4件発生したため目標達成できなかった。 | 「アニサキス」は、サバ、アジ等の魚介類の生食により発生しているため、食品衛生責任者講習会や飲食店・魚介類販売店の監視時等に、内蔵の早期除去や虫体の目視確認について指導・啓発を行っていく。   |
| 災害に強い人づくり、地域づくりの推進      | 自主防災組織避難訓練等実施率(%)   | 90    | 69.6  | 77.3% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域住民が集まる避難訓練等の実施が困難となり、目標を達成することができなかった。           | 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、改めて防災啓発動画をメディアやSNS等で集中的に放映し、一人ひとりの防災意識の醸成や防災アプリ、タイムラインの普及を促進するとともに、訓練が低調な地域に対して地元防災士会等と連携して訓練実施を支援する等により、避難訓練等実施率の向上を図る。   |
|                         | 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域)(%)   | 100   | 80.4  | 80.4% |  |   |
| 移住・定住のための環境整備とUIJターンの促進 | 移住促進策による移住者数  | 2,300 | 1,917 | 83.3% | 新型コロナウイルスの影響により移住相談会等での相談件数がコロナ以前ほど回復しなかったため。                          | ・テレワークの普及など世の中の変容を捉え、都市圏の企業を対象にモニターツアーを実施し、遠隔勤務やフィールドワークの機会を提供することで、転職なき移住の推進に取り組む。<br>・若年女性に対して、キャリア相談をはじめ、就職先の紹介や斡旋を伴走型で支援し、転職移住の推進にも取り組む。<br>・福岡県内の学生向けには、拠点施設での活動に加えて、大学訪問や大学での就職相談会開催などによる周知を強化する。<br>・県外の大学生等及びUIJターン就職希望者には、オンラインによる企業情報発信や合同企業説明会の開催、個別相談の実施など、多様な形で企業とのマッチング機会を提供する。 |

コロナ

コロナ

【達成不十分以下の指標(活力)】

(8指標)

| 施策名  | 指標名                           | 目標値    | 実績値    | 達成度   | 要因   | 向上策   |
|--|-------------------------------|--------|--------|-------|--|---|
| 多様で厚みのある産業集積の深化  | 医療機器製造業登録事業所・製造販売許可事業者数(件・累計) | 36     | 24     | 66.7% | 複数の製造業登録事業所を保有する企業による製造拠点集約等により目標値を達成できなかった。   | 大分大学医学部附属臨床医工学センターや医療・看護・介護・福祉従事者と企業との連携を支援するとともに、医療機器等販売ディーラーとの交流を積極的に行い、市場を見据えた機器開発・販路拡大を支援する。  |
| 多様で厚みのある産業集積の深化<br><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> | 食品出荷額(億円)                     | 3,135  | 2,651  | 84.6% | 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令や移動制限の影響により、展示会出展事業自体が行えなかったことに加え、食品加工業の主な取引先である飲食・観光業への取引が減少したため、目標達成には至らなかった。 | 展示商談会などのリアル面談に加え、オンラインを活用したマッチング支援に取り組み、新たな販路獲得を目指す。  |
| 国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速  | 県内宿泊客数(千人)                    | 7,670  | 6,302  | 82.2% | 新型コロナウイルスの影響で国内の観光需要が回復しなかったため。  | インバウンドの回復を見据え受入体制を維持するとともに、地域で活躍する人材についても引き続き育成に取り組む。   |
| 国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速  | 外国人宿泊客数(千人)                   | 1,710  | 170    | 9.9%  | 新型コロナウイルスに伴う水際対策の影響などにより未達となったもの(観光目的の入国再開6月～、水際対策の大幅緩和10月～)   | 新型コロナウイルスに伴う水際措置が4月下旬に終了したことから、今後は、国際航空需要の回復状況等を見定めながら、各国・地域のニーズを踏まえた誘客対策や情報発信に取り組む。  |
| おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化  | 観光入込客数(千人)                    | 20,700 | 15,149 | 73.2% | 新型コロナウイルスの影響で国内の観光需要が回復しなかったため。  | 旅行者の消費行動データや観光地周遊情報等を活用したデータマーケティングを行い、得られた結果を観光事業者に共有するとともに、分析結果を基にした各事業のEBPMを推進する。  |
| おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化  | 観光消費額(億円)                     | 2,525  | 1,924  | 76.2% | 新型コロナウイルスの影響で国内の観光需要が回復しなかったため。  | コロナ禍による自然志向の高まりを捉えた地域資源活用型観光サービスの開発を促し、県内の周遊促進、滞在時間の延長による観光消費額の増加を図る。   |
| 戦略的広報の推進   | 地域ブランド調査(魅力度ランキング)(位)         | 14     | 29     | 55.9% | 食や温泉をはじめとした自然の豊かさなど、大分県が誇れるものの魅力を、ランキング上位団体に比べ十分に伝え切れていない。   | 「温泉+α(食・観光・居住等)」の情報発信に際し、<br>①ターゲットに応じた適切な広報媒体の選択(例:若者向け→SNSなどデジタル系の媒体等)<br>②デジタルマーケティングや外部副業人材(クリエイティブ戦略アドバイザー等)の活用<br>による本県の認知度・魅力度向上を図る。 |
| 女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築  | 雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合(%)    | 17.7   | 12.5   | 70.6% | 労働福祉等実態調査では、女性の管理職登用が難しい原因として、家庭との両立が難しいとの回答が最も多く、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の影響が考えられる。          | まずは、アンコンシャス・バイアスとは何かを知った上で、自身の行動に潜むアンコンシャス・バイアスに気づき、固定的性別役割分担意識をなくしていくことが重要である。R5年度は、家庭版アンコンシャス・バイアス事例の募集や、企業や家庭向けに動画等で、広く県民に発信していく。        |

コロナ  
コロナ  
コロナ  
コロナ  
コロナ

【達成不十分以下の指標(発展)】

(6指標)

| 施策名                      | 指標名                                  | 目標値    | 実績値    | 達成度   | 要因   | 向上策   |
|--------------------------|--------------------------------------|--------|--------|-------|--|---|
| 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援 | 「協育」ネットワークの取り組みに参加する地域住民の数(万人)       | 10.9   | 9.5    | 87.2% | 新型コロナウイルスの影響により、地域学校協働活動が制限された。              | 参加人数は回復傾向にある。引き続き、好事例を市町村に周知し、地域学校協働活動の活性化を図る。  |
| 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援 | 公立図書館の利用者数(万人)                       | 266    | 181    | 68.0% | 新型コロナウイルスの影響により、開館時間の短縮など利用制限を行った。           | 利用者数は回復傾向にある。引き続き、読書イベントの開催や宅配貸出や電子書籍などの非来館サービスを進める。  |
| 文化財・伝統文化の保存・活用・継承        | 県立歴史博物館・県立先哲史料館・県立埋蔵文化財センターの利用者数(万人) | 14     | 12     | 85.2% | 新型コロナウイルスの影響からの回復途上                          | 利用者数は回復傾向にある。引き続き、魅力あるイベントの開催や広報活動に努める。   |
| 県民スポーツの推進                | 総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)                 | 1.92   | 1.43   | 74.5% | コロナ禍によりクラブ会員数(特に20代～50代)が減少した状態が続いている。       | 総合型地域スポーツクラブにおいて、地域の特色を活かしたシンボリックプログラムや、親子で一緒に取り組める運動など、魅力あるプログラムを提供する。                                     |
| スポーツによる地域の元気づくり          | 合宿等受入人数(人)                           | 78,000 | 47,821 | 61.3% | 新型コロナウイルスの影響により、県外への移動や宿泊を伴うスポーツ活動の自粛が続いたため。 | プロ、実業団、大学等の日本トップクラスのチームの合宿を積極的に誘致しつつ、HPの充実等による広報活動の強化、合宿に来た選手と県民とのふれあい交流の場の創設などにより、知名度の向上及びスポーツ合宿の裾野の拡大を図る。 |
| 九州の東の玄関口としての拠点化          | フェリー・航空輸送人員(千人)                      | 3,840  | 2,881  | 75.0% | 新型コロナウイルスの影響による需要の低迷                         | コロナ禍からの再活性化に向けて、航空・フェリー会社と連携した利用促進策や国際線の運航再開に取り組む。  |

コロナ

コロナ

コロナ

コロナ

コロナ

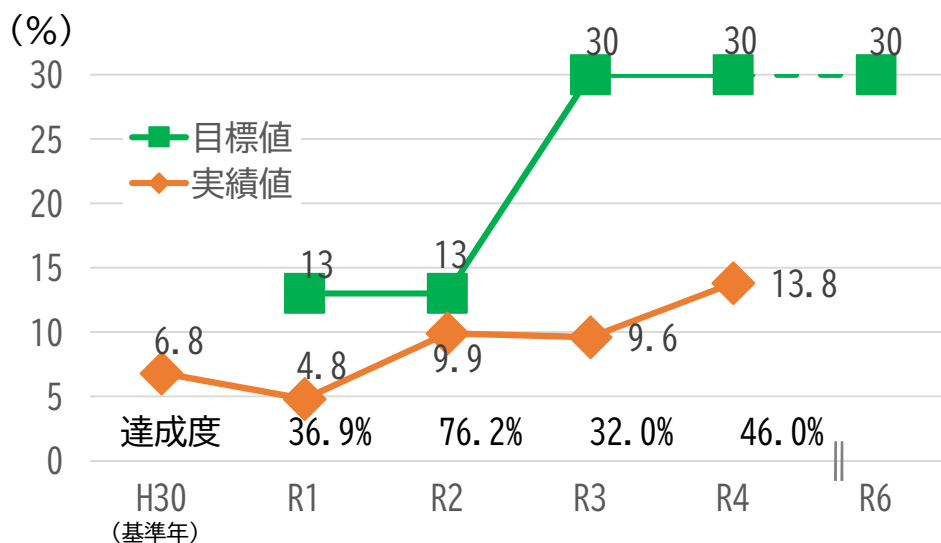
コロナ



# 目標値達成に向けた取組（安心）

| 施策名             | 指標名           |
|-----------------|---------------|
| 子育てしやすい環境づくりの推進 | 男性の育児休業取得率（％） |

## 【目標値と実績値の推移】



## 【現状・課題】

- 国が「第4次少子化社会対策大綱」（R2.5.29閣議決定）で、目標値を30%（R7年）に改定したことから、R3年に県の目標値を国と同様に改定。
- R3年と比較し取得率は4.2%上昇しており、取得期間も長くなっている。
  - ・1か月以上 R3：19.8% → R4：27.6%
- 育休取得に独自の支援を工夫している県内企業も見られる。  
（例：育休取得者と同僚の両方へ手当支給）
- 男性育休取得に対する経営者・職場全体及び本人も含めた意識啓発や社内環境の整備が必要。
  - ・男性が育児休業を利用しなかった主な理由（複数回答）
    - 周囲の負担が増加するなど、業務に影響が出るため（67.8%）
    - 収入が減少するため（51.5%）

## 【R6年度目標値達成に向けた取組】

- ・経営者の意識改革を促すトップセミナーの開催
- ・優良企業表彰や優良事例集により先進的な取組を紹介
- ・制度改正・国の助成金の活用の周知に加え個別相談にも応じるセミナーを県内各地で開催
- 新**・男性の育児休業の取得が進まない中小企業等への社内環境整備の支援のため、アドバイザー（社会保険労務士等）を派遣
  - 実際に男性の育児休業の取得推進に取り組んだ企業の取組事例や育児休業の取得のメリット等を紹介するなど、育児休業が取得しやすい環境作りの支援  
（男性の育児休業の取得が進んでいない建設業、製造業、医療・福祉などに派遣）
- ・おおいた子育て応援団「しごと子育てサポート企業」認証制度の普及・拡大
- ・男性育休を含めた働き方改革の必要性について、国や労働者団体、経営者団体と連携した周知、啓発、企業支援等



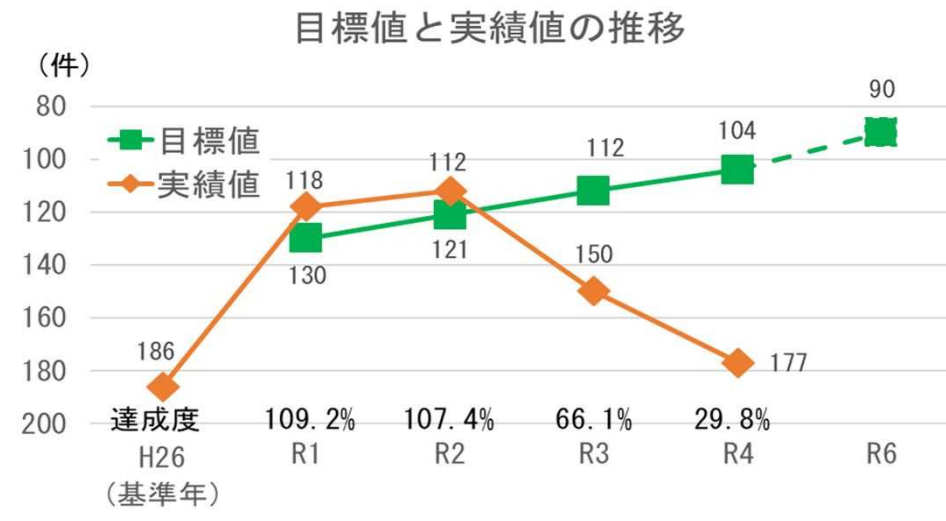
（令和4年度 働き方改革セミナー）



# 目標値達成に向けた取組（安心）

| 施策名          | 指標名           |
|--------------|---------------|
| 犯罪に強い地域社会の確立 | 特殊詐欺被害件数（件以下） |

## 【目標値と実績値の推移】



## 【現状・課題】

- 令和4年中における特殊詐欺被害の現状
  - ・前年と比較して、被害件数は27件増加(R3:150件→R4:177件)、予兆電話等は484件増加(R3:671件→R4:1,155件)
  - ・手口別では、架空料金請求詐欺132件(サポート詐欺58件)、還付金詐欺24件(全て振込)の順に多く、2つで88%を占める
  - ・全被害のうち、年齢別では、65歳以上の高齢者が53.7%、被害金交付方法は、電子マネー(コンビニ)が54.8%と半数を超える
- 特殊詐欺防止対策の課題
  - ・令和2年7月から統計に加わった「サポート詐欺」等の巧妙化する手口を周知し、更なる防犯意識の向上に繋がる広報啓発が必要
  - ・コンビニエンスストア、金融機関における水際阻止対策が必要
  - ・予兆電話等のうち、固定電話への接触が約53%を占めることから、高齢者への固定電話対策が必要

## 【R6年度目標値達成に向けた取組】

### 「犯人と話をしない対策」、「犯人に騙されない対策」、「騙されても犯人にお金を渡さない対策」の推進

- ◆購入費用補助制度(R2度～県)の活用等による自動警告・通話録音機能付き電話機の購入促進
- ◆NTTが実施する70歳以上の契約者等の回線を対象としたナンバー・ディスプレイ及びナンバー・リクエスト(非通知着信拒否)無料化サービスの普及促進
- ◆大分駅前交番に設置予定(R5中)の大型ビジョンを活用した積極的な広報啓発の実施
- ◆コールセンター事業の継続実施やテレビCM・Web広告等による注意喚起の実施
- ◆NHK大分放送局等のテレビ局と連携した広報活動の実施
- ◆民間業者に委託して行うATMの警戒業務による水際阻止対策の実施
- ◆金融機関によるATM振込制限等、コンビニエンスストアによる声掛け等による水際阻止対策の推進

【大型ビジョン設置イメージ】



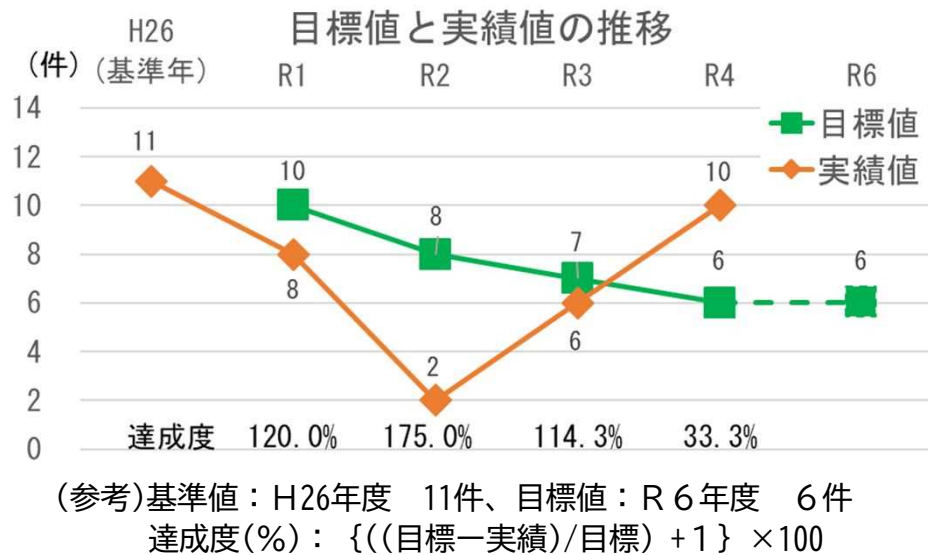




# 目標値達成に向けた取組（安心）

|            |              |   |
|------------|--------------|---|
| 施策名        | 指標名          |  |
| 食の安全・安心の確保 | 食中毒発生件数（件以下） |   |

## 【目標値と実績値の推移】



## 【現状・課題】

- ・食中毒事件数は一時減少傾向にあったが、近年増加に転じている。
- ・厚労省ではH25年から食中毒事件として寄生虫(アニサキス等)の統計を開始し、年々増加。H30年からアニサキスが発生件数1位となっている。
- ・大分県でもアニサキスが原因となる食中毒事件の認知がすすみ、R4年度は医師からの食中毒発生届が4件あった。
- ・近年増加傾向にあるアニサキス食中毒対策が必要。

### ○全国の食中毒事件数(病因物質別)

| 病因物質     | H26  | R1    | R2    | R3    | R4    |
|----------|------|-------|-------|-------|-------|
| アニサキス    | 79   | 328   | 386   | 344   | 566   |
| カンピロバクター | 306  | 286   | 182   | 154   | 185   |
| ノロウイルス   | 293  | 212   | 99    | 72    | 63    |
| その他      | 298  | 235   | 220   | 147   | 148   |
| 総数       | 976  | 1061  | 887   | 717   | 962   |
| アニサキスの割合 | 8.1% | 30.9% | 43.5% | 48.0% | 58.8% |

## 【R6年度目標値達成に向けた取組】

- ・アニサキス食中毒は、サバ・アジ等の魚介類の生食が原因となる。食品衛生講習会や飲食店・魚介類販売店の監視時に、魚の内臓の早期除去や虫体の目視確認について指導と啓発を行い、アニサキス食中毒を予防していく。
- ・あわせて、これまでの細菌やウイルス等を原因とする食中毒の予防も継続し、食の安全・安心の確保を進めていく。

## 【新長計に向けての整理】

- ・新長計の策定に当たっては、アニサキス食中毒の急増を踏まえた見直しを行う。

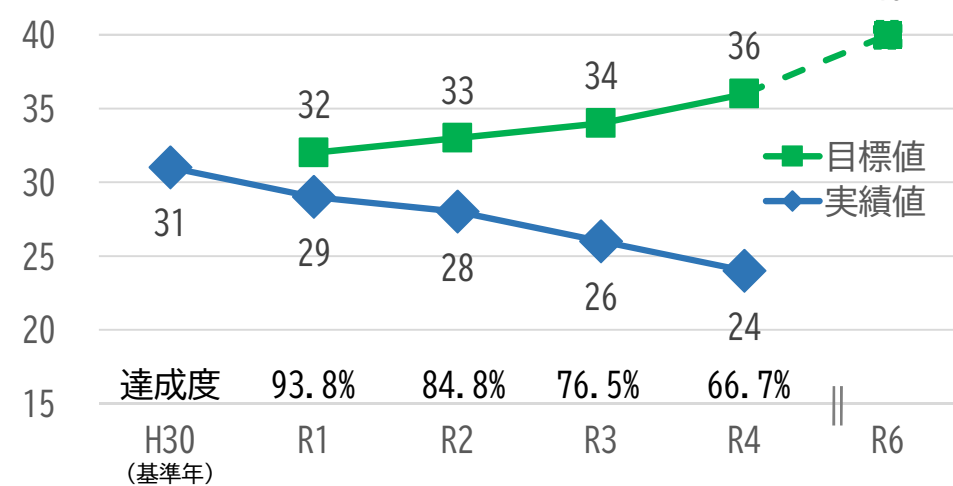


# 目標値達成に向けた取組（活力）

| 施策名             | 指標名                          |
|-----------------|------------------------------|
| 多様で厚みのある産業集積の深化 | 医療機器製造業登録事業所・製造販売許可業者数（件・累計） |

## 【目標値と実績値の推移】

（件・累計）



## 【現状・課題】

- 「東九州メディカルバレー構想」の第3期がスタート(R4～R8)
  - 「大分県医療ロボット・機器産業協議会」H28.4.1設立 (R5.8.1現在 175社・32支援機関)
  - 景気変動の影響が少なく、安定した医療機器産業分野に興味を持つ企業が増加しているほか、介護、福祉、看護機器等の製造を目指す企業も増加
  - R3.5に、展示・交流スペース「メディバレーおおいた」を設置したほか、関係者間のネットワークの構築が進んだ。
  - 一方、医療関連機器の研究から上市までに時間がかかることから、開発経費が企業にとって負担になっている。
  - 異業種からの新規参入が多いため、初めてのBtoCが多く、販路開拓・拡大の支援が必要。
- ※複数の製造業登録事業所を有する企業による製造拠点の集約や、グループ内での事業再編に伴う製造販売許可の更新等により拠点数は減少しているが、医療関連機器の市場化件数は増加している。(R1:8件→R4:13件)

## 【R6年度目標値達成に向けた取組】

- ・医療関連産業の新規参入のため、医療関連産業参入促進セミナーを開催する。
- 新**・大分大学や宮崎県と連携し、ニーズ探索交流会・ビジネスマッチング会を開催することで、新規開発案件の探索や医療機器メーカーと県内ものづくり企業とのマッチングを図る。
- 新**・医療関連機器の新規開発や販路開拓を促進するため、宮崎県と連携し、オンライン展示場とリアル展示会を組み合わせた展示・商談会を開催する。



【医療関連産業参入促進セミナー】

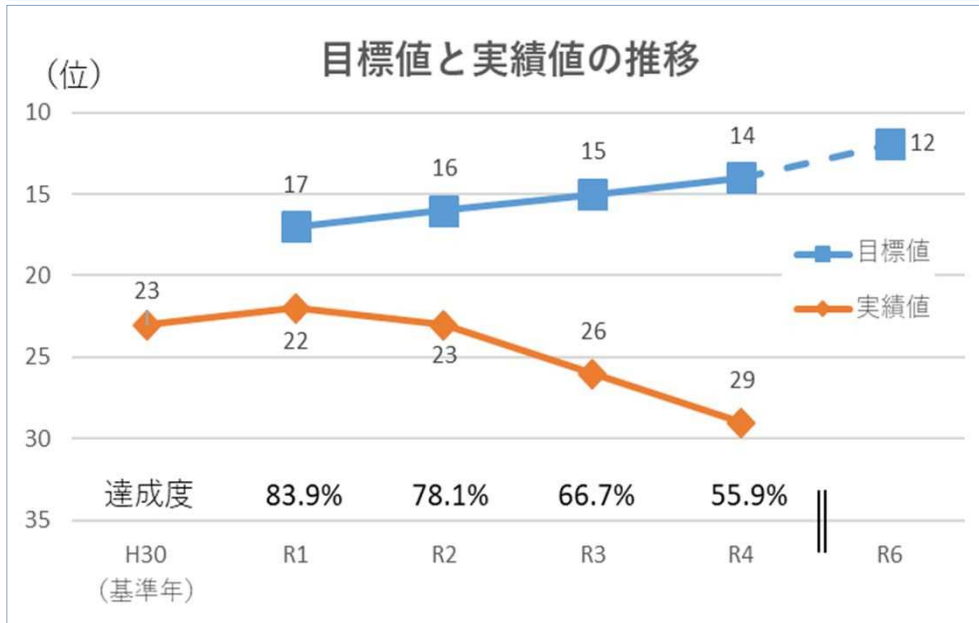
## 【新長計に向けての整理】

- ・医療機器分野のみならず介護・福祉機器分野等も含めた施策の成果を把握できる指標の設定を検討。



# 目標値達成に向けた取組（活力）

| 施策名      | 指標名                   |
|----------|-----------------------|
| 戦略的広報の推進 | 地域ブランド調査(魅力度ランキング)(位) |



## 【現状・課題】

- ・本県最大の強みである「温泉」と話題性のある「宇宙」を組み合わせた「宇宙のオンセン県オオイタ」プロモーションの展開(YoutubeのPR動画は約68万回再生)等を通じ、認知度の向上を図ることができた。
- ・一方、魅力度ランキングは伸び悩んだ。食や温泉をはじめとした自然の豊かさなど、大分県が誇れる魅力を十分に伝え切れていないことも一因。
- ・日常の情報収集は、テレビ等のアナログ媒体よりもスマートフォン等のデジタル媒体が主流となっており、こうした社会構造の変化に対応し、情報を一方的に「伝える」だけでなく、情報の受け手に「伝わる」情報発信の強化が必要。

## 【R6年度目標値達成に向けた取組】

「魅力度」に限らず、大分県を総合的に評価してもらえるよう、本県の「温泉 + α(食・観光・居住等)」の魅力を存分に情報発信していく。

(具体的な手法)

- ・ターゲットに応じた適切な広報媒体の選択(例:若者向け→SNSなどデジタル系の媒体 等)
- ・デジタルマーケティングや外部副業人材(クリエイティブ戦略アドバイザー等)を積極的に活用し、本県の認知度・魅力度向上を図る。

## 【新長計に向けての整理】

・魅力度ランキングは、災害発生などネガティブ要因でも順位上昇につながるなど、県の取組に対する成果が見えにくいことから、目標指標としての妥当性の検討が必要。

## 参考資料

- 1 R4年度の目標値に対する達成度
  - (1) 政策別リーダーチャート
  - (2) 施策別リーダーチャート(安心)
  - (3) // (活力)
  - (4) // (発展)
  
- 2 最終年度(R6)の目標値に対する達成度
  - (1) 政策別リーダーチャート
  - (2) 施策別リーダーチャート(安心)
  - (3) // (活力)
  - (4) // (発展)

1 R4年度の目標値に対する達成度

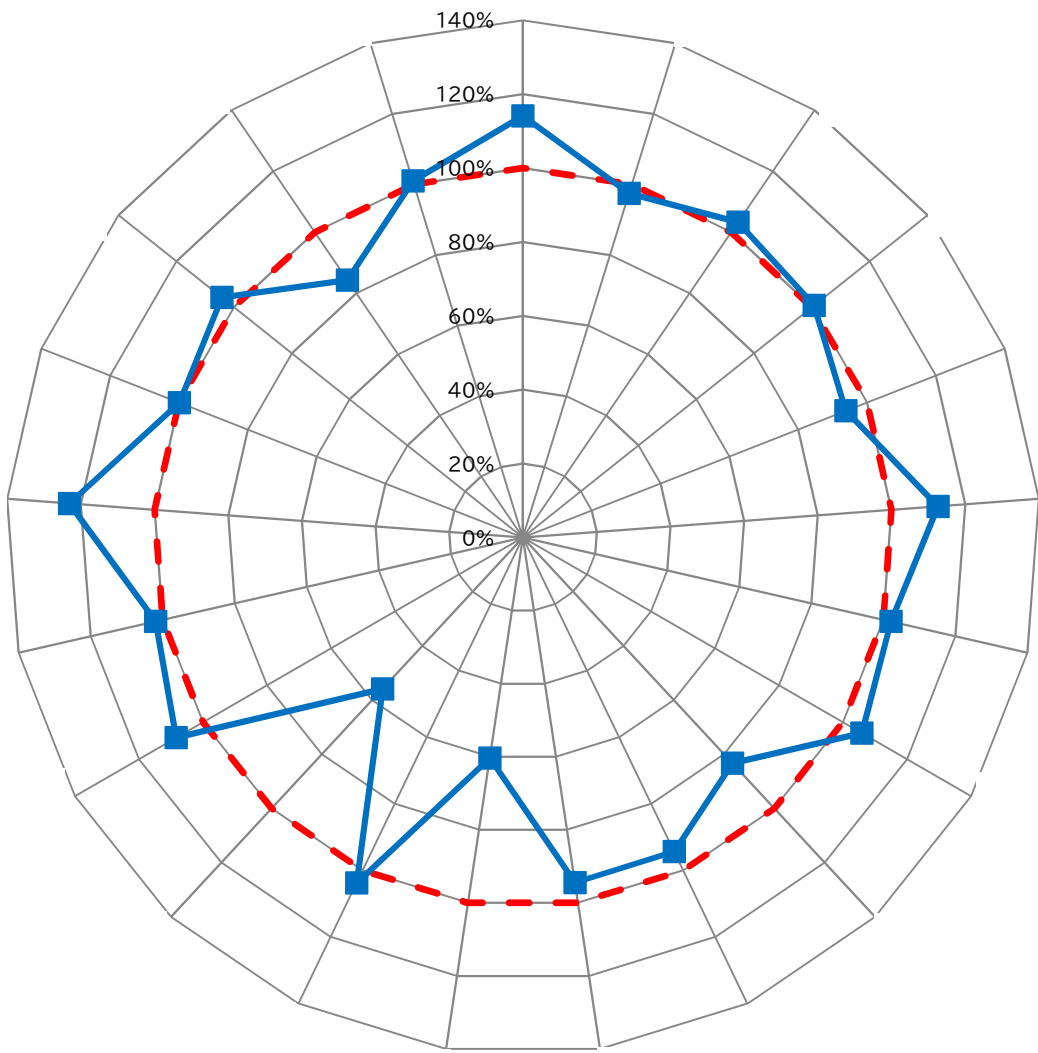
(1) 政策別レーダーチャート

発展  
(4政策)

活力  
(8政策)

21政策

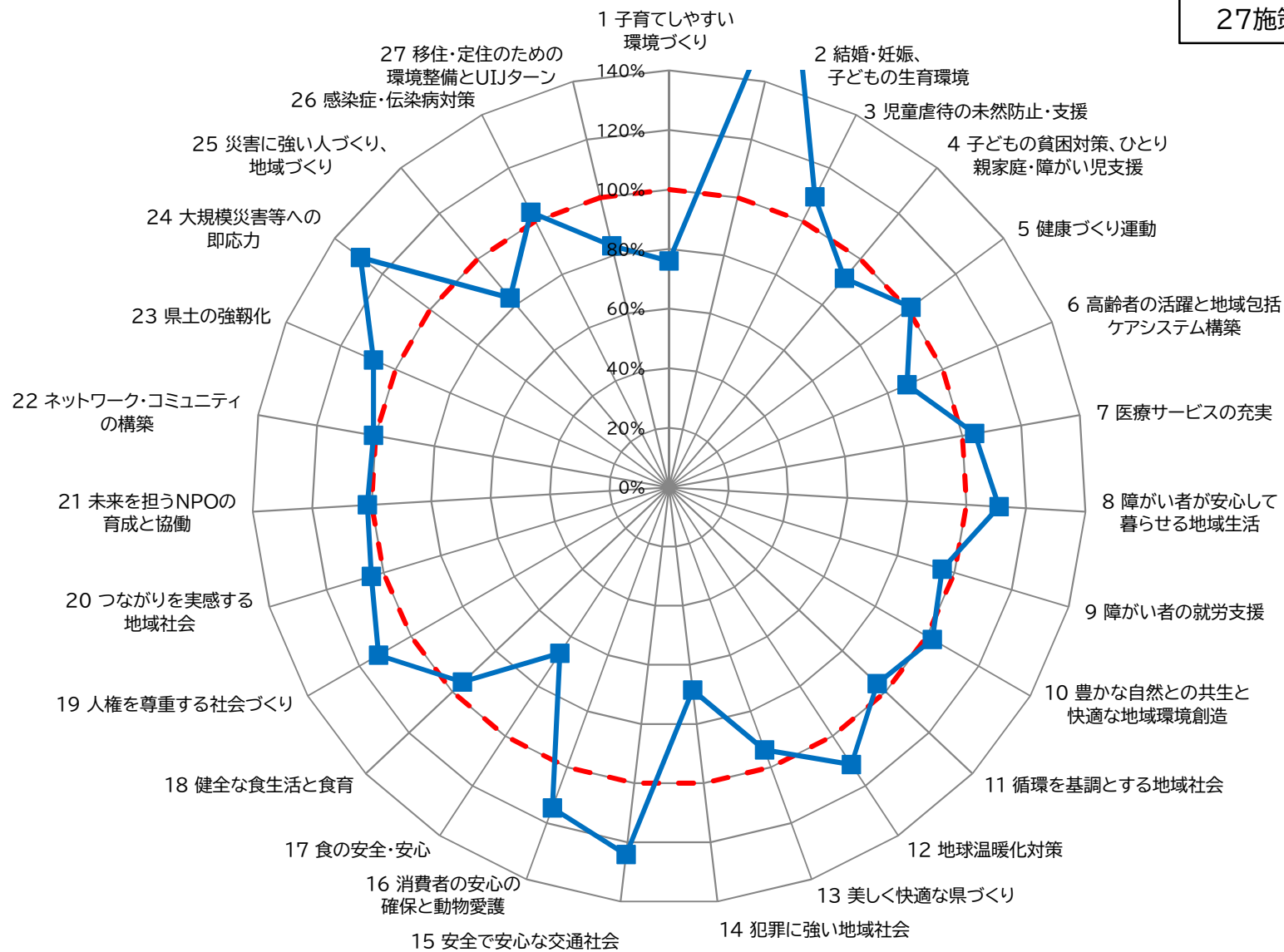
安心  
(9政策)



達成度については、各政策を構成する施策ごとに設定した指標の平均達成度

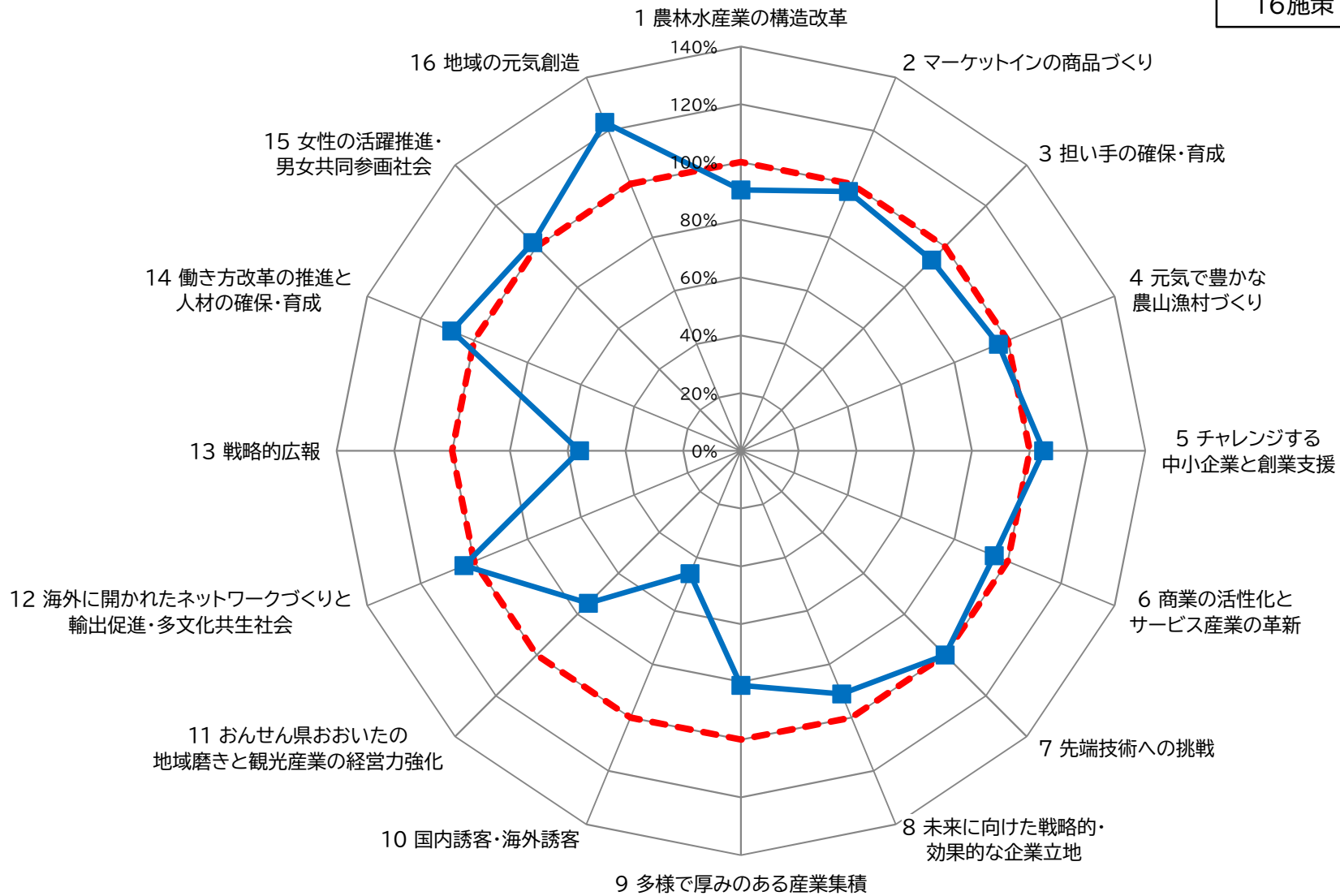
(2) 施策別レーダーチャート (安心)

27施策



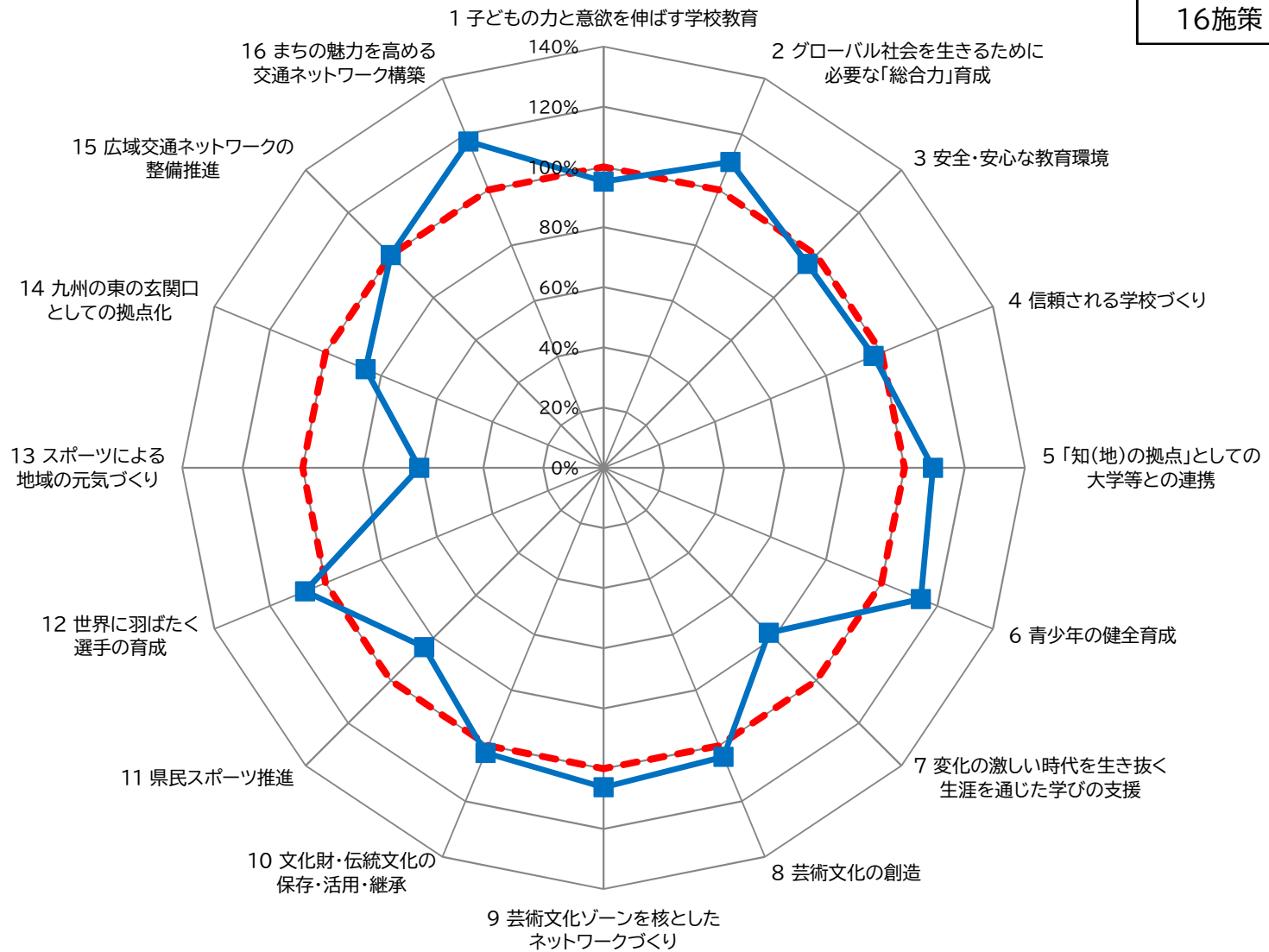
(3) 施策別レーダーチャート (活力)

16施策



(4) 施策別レーダーチャート (発展)

16施策





## 2 最終年度（R6）の目標値に対する達成度

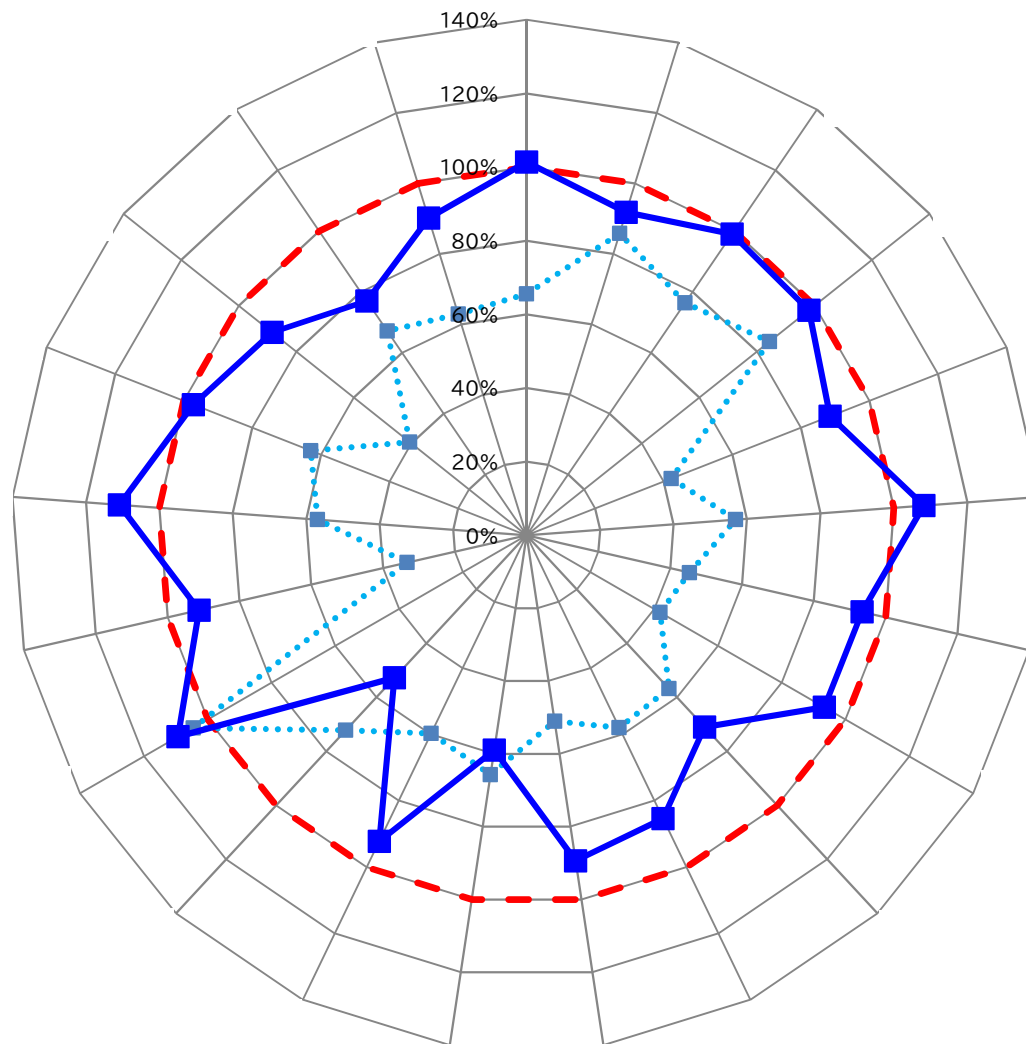
### (1) 政策別レーダーチャート

発展

(4政策)

活力

(8政策)



21政策

●●● 基準値

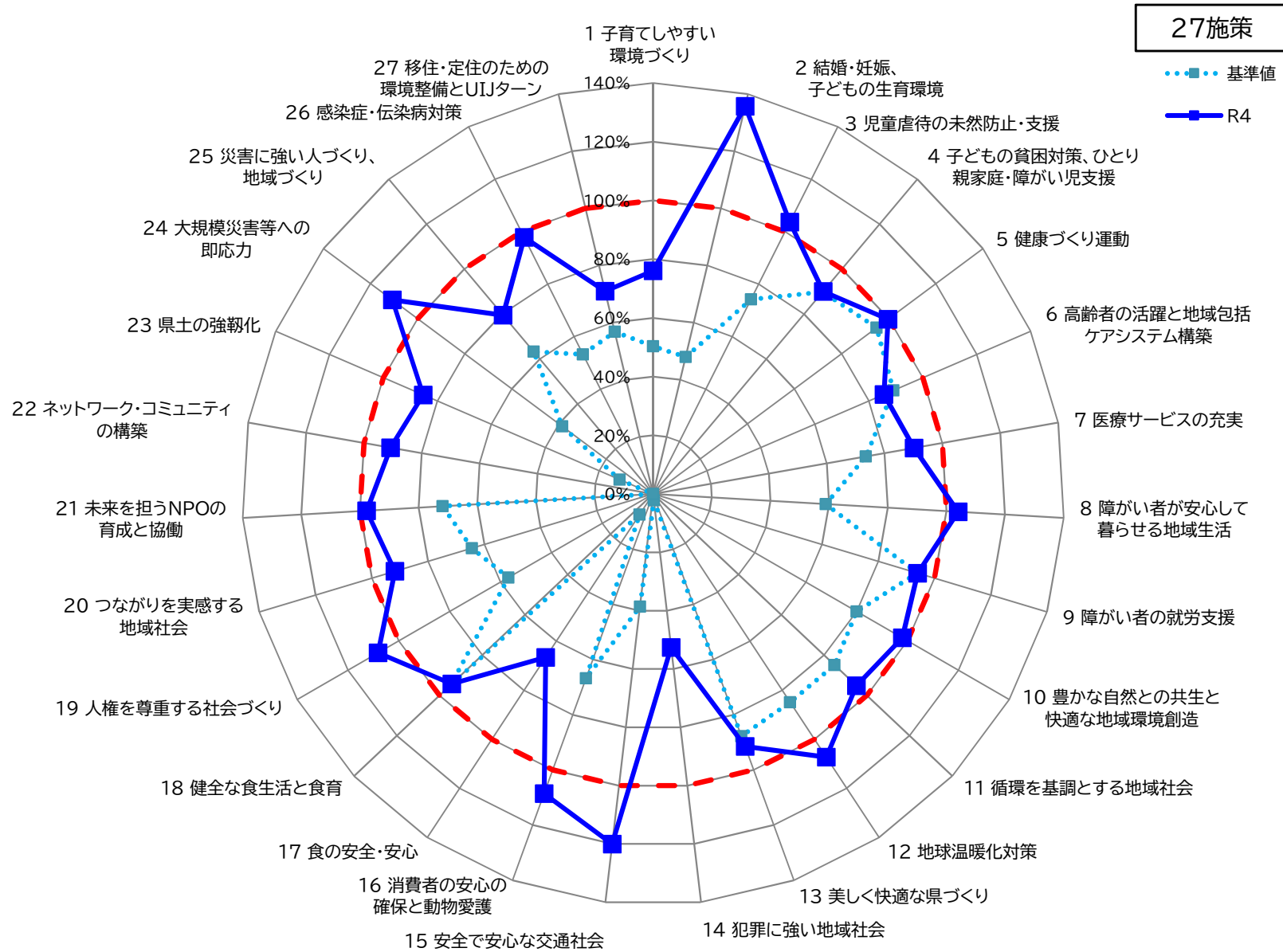
■— R4

安心

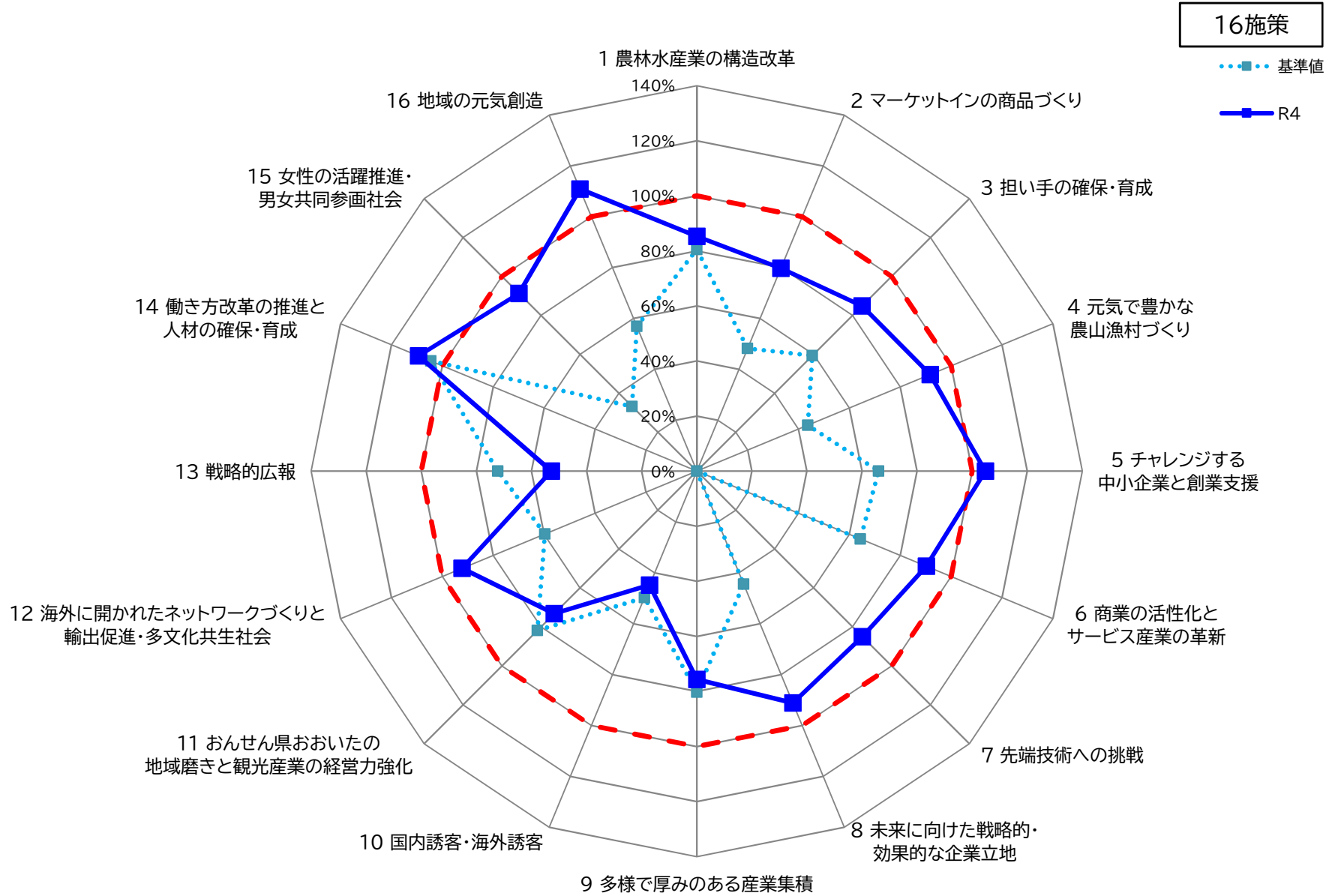
(9政策)

達成度については、各政策を構成する施策ごとに設定した指標の平均達成度

(2) 施策別レーダーチャート (安心)



(3) 施策別レーダーチャート (活力)



(4) 施策別レーダーチャート(発展)

